

坂本ふれあい施設 ふれあいの日



ひなまつりおたのしみ会

3月13日（土）午後1時30分から坂本ふれあい施設はなのきセンタープレイルームでふれあいの日「ひなまつりおたのしみ会」が開催されました。約210名の赤ちゃんからお年寄りまで、世代を超えて楽しい時間を過ごしました。まず、トップバッターは今井富士夫さん（二軒屋）が20歳の時から弾いているお得意のギターで子どもたちも知っている曲やお年寄りの好きな演歌などを披露しました。続いて、オカリナとフルートで構成している「ドルチェ」のみなさんの演奏が始まりました。「ドルチェ」とはイタリア語で甘い、甘美な、やさしい、柔らかいという意味があるそうです。その名のとおり、オカリナとフルートの甘美な音色で、「コンドルは飛んでいく」「崖の上のポニョ」など素敵な演奏に合わせて参加者も一緒に歌いました。やっぱり、音楽っていいですね。「あ～私も何か楽器が弾けたらな～」とつくづく思いました。（カラオケは好きなんですけど）坂本公民館



で楽団を作るのが夢なんです。「坂本カンタービレ」それはさておき、いよいよ、トリはみんな揃っての踊りの時間です。「血液ガッタガタ」「キヨシのズンドコ節」を何回も踊りました。みんな汗びっしょりです。♪血液ガッタガタ 血液ガッタガタ チッチッチッチ血が騒ぐ～ 可愛い子ぶりっ子A型さん 八方美人で見栄っ張り♪この曲が耳から離れません。どうかして～。最後はお楽しみのおやつです。手作りのクッキーとシフォンケーキにたっぷりの生クリームとイチゴをトッピング。美味しかったですね。この施設は坂本の宝物の一つです。主催は坂本ふれあい施設管理運営協議会（浅野俊英会長）協力：坂本老人クラブ連合会（河尻欣一会長）・坂本公民館でした。

今井富士夫さんのギター演奏



ドルチェのみなさん



血液ガッタガタ、踊り過ぎて、体もガッタガタ



みんな一緒に歌ってね～



おやつは手作りで。木曜日から仕込んでいました

地域版広報

さかもと

平成22年4月1日号
坂本コミュニティセンター
TEL 68-2001
FAX 68-4851

坂本の人口 12,849人(男:6,351人 女:6,498人) 世帯数4,366 【平成22年 2月末現在】
12,857人(男:6,355人 女:6,502人) 世帯数4,364 【平成22年 1月末現在】

坂本公民館まつり盛大に開催！満員御礼！

3月14日（日）に坂本公民館ホールにおいて第34回坂本公民館まつりステージ部門が開催されました。17団体延べ360人の出演者のみなさんが一年間の活動の成果をステージで見事に発表されました。9時30分から始まった開会式では主催者側から藤井鉦弘公民館まつり実行委員長、林久夫公民館長がお礼のあいさつを、ご来賓の皆様からは黒田とことろ坂本市議団長、近藤光清区長会長からお祝いのごあいさつをいただきました。今回もゲストに中津川工業高等学校吹奏楽部と飛翔の里コーラス部をお招きしました。また、観客席の後ろではママヨガのみなさんのリサイクルバザー、飛翔の里のフキン、ほかしなど、JA加工部の山菜おこね、からすみなどの即売も行いました。今年はお天気にも恵まれ、出演者もお客様も一日楽しく過ごされたことと思います。今年これなかったみなさん、来年は必ず来てね。入場無料ですから。それに、公民館ではたくさんのサークル、講座があります。何かやりたいこと、見つかるかも。そうならば、来年は、あなたが主役かもしれませんね。坂本公民館へぜひ！



高齢者民踊クラブ



リサイクルバザー



リズムキッズ



スナーナヨーガ



今年もやってくれました工業高校吹奏楽部



文化箏愛好会



飛翔の里コーラス部



はなのき大学開講式を挙りました！

3月11日に坂本公民館高齢者はなのき大学の開講式がありました。最初に「命のアサガオ」という映画を見ました。この映画は実話を基にしています。新潟県の小学1年生の光祐くんが白血病を発症し闘病生活の末、力尽きて亡くなってしまったという悲しい話なんですが、映画に描かれている光祐くんの生きようとする意欲やおかあさんの光祐くんが種をまいたアサガオを育てようと努力する姿にも焦点を当て、命の尊さ、大切さを感じさせる映画です。その後「坂本で命のアサガオを育てる会」代表の滝川啓子さんが、子どもたちに命の大切さを伝えるために、光祐君のアサガオの種の配布や小学校での絵本の読み聞かせなどを「がんばる地域サポート事業」により取り組んでいますとあいさつがありました。それから閉講式に移り、皆勤賞などの表彰、そして受講生を代表してこぶし会の加藤市郎さんからお礼の言葉が述べられました。



「命のアサガオ」を見て、話を聞きました



加藤市郎さんが謝辞を



皆勤賞代表の伊藤博さん

葉が述べられました。受講生のみなさん、1年間ご苦労さまでした。卒業証書は渡しておりませんので、みなさん留年です。今年も6月になったらまた入学してくださいね。元気な笑顔でまた、お会いしましょう！



全校合唱をプレゼント

先生たちの合唱



地域安全ボランティアのみなさん

地域ボランティアに感謝の言葉を

3月3日に坂本小学校で6年生を送る会が開催されました。その会場へ日頃、児童の登下校の見守りを行っている地域安全ボランティアのみなさんが招待され、児童会長から感謝の言葉と全校児童の素晴らしい合唱がプレゼントされました。ボランティアを代表して、幸脇康行青少年健全育成推進市民会議坂本支部長がお礼の言葉とこれからも交通事故に気を付けて登下校して下さいと呼びかけました。それから各学年ごとの出し物を児童と一緒に見学して、楽しい時間を過ごすことが出来ました。出席者は次のとおりです。(敬称略)

団体等名称	出席者
坂本老人クラブ連合会	山田 峻平
千旦林地区歴代区長会	中嶋 洋之
地域ボランティア「あさひ」	横山 博隆
茄子川2区地域安全パトロール隊	河野 清臣
茄子川2区地域安全パトロール隊	田村 悦夫
新町区地域ボランティア	小林八十八
坂本12-4区子ども安全ボランティア	市岡 勉
辻原桜会	根尾 隆
更生保護女性会	近藤 美保
更生保護女性会	林 好子
交通安全協会坂本支部	幸脇 唯志
主任児童委員(坂本地区民児協)	田村 浩美
坂本交番友の会	荻野 忠代
地域安全指導員	木村 亨
中津川警察署坂本交番	林 茂樹
青少年健全育成推進市民会議坂本支部	幸脇 康行

中津川市民春季マレットゴルフ大会開催のお知らせ

●主催：第5回市民マレットゴルフ大会実行委員会
 後援：中津川市、中津川市教育委員会、中津川市体育協会、中日新聞社
 期日：平成22年4月24日(土) 小雨決行
 雨天の場合は25日(日)に順延
 会場：茄子川マレットゴルフ場二軒家コース
 受付：12時30分～
 開会式：12時50分
 スタート：13時10分
 参加資格：中津川市民で20歳以上の方
 参加費：1000円(コース会員)
 1300円(コース会員以外)
 申込方法：二軒家コース管理棟にて申し込み
 申込期限：平成22年4月6日(火) 厳守

お知らせ

坂本コミュニティセンターリサイクルボックスのご利用について

リサイクルボックスに持ち込み可能な資源

- ・新聞紙・ダンボール・雑誌
- ・トレイ
- ・発泡スチロール
- ・雑紙(紙袋かレジ袋に入れてください)

※布類は持ち込まないでください。

※資源ごみなどは指定日に持ち込んでください。

午前8時30分～午後5時15分まで

2月12日(金)に坂本地区の西消防署において第2回救急技術発表会が開催されました。発表内容の一例としては「60歳男性、自宅で倒れて返事をしない」との救急要請があった場合にどのように応急処置を施すかという想定で、隊員が日ごろの救急技術訓練の成果を発表するものです。評価者として、坂下病院の村瀬医師、市民病院の吉村看護師、アドバイザーとして防災士の資格をお持ちの黒田ところ市議会議員さん、坂本地区女性防火クラブの土屋厚子会長さんが見守る中、傷病者役の職員に対して、呼吸は？意識は？などトリアージを的確に判断し、バイタルサインはどうか？など、まるでテレビドラマの「コード・ブルー〜ドクターヘリ救急救命〜」の世界を間近で見学させていただき、評価者の方やアドバイザーの方も、その的確な処置に感嘆されていました。すごい！この発表会を本当に多くの市民の方に見ていただきたいと思いました。本当に、市民のみなさんの命を守るためにどれだけ努力しているのか。それが私の胸にもじんじん伝わって来ました。本当にご苦労さまです。みなさん、「救急車はタクシーではありません」これは救急車を本当に必要としている人の心の声なんです。コンビニ受診もご遠慮くださいね。救急外来の先生も大変ですから。



救急技術を発表します



講評を受けます

4月	行事名	会場等
5日(月)	乳幼児なんでも相談	麦の穂会館
6日(火)	春の交通安全運動街頭啓発日	
9日(金)	春の交通安全運動街頭啓発日	
	坂本老人クラブ連合会代議員総会	坂本公民館
15日(木)	春の交通安全運動街頭啓発日	
	資源ごみの日：千旦林	
19日(月)	燃えないごみの日：千旦林	
20日(火)	坂本体育協会総会	坂本公民館
21日(水)	資源ごみの日：茄子川	
26日(月)	燃えないごみの日：茄子川	



第2回中津川市西消防署救急技術発表会が開催されました！

第2回中津川市西消防署救急技術発表会が開催されました。発表内容の一例としては「60歳男性、自宅で倒れて返事をしない」との救急要請があった場合にどのように応急処置を施すかという想定で、隊員が日ごろの救急技術訓練の成果を発表するものです。評価者として、坂下病院の村瀬医師、市民病院の吉村看護師、アドバイザーとして防災士の資格をお持ちの黒田ところ市議会議員さん、坂本地区女性防火クラブの土屋厚子会長さんが見守る中、傷病者役の職員に対して、呼吸は？意識は？などトリアージを的確に判断し、バイタルサインはどうか？など、まるでテレビドラマの「コード・ブルー〜ドクターヘリ救急救命〜」の世界を間近で見学させていただき、評価者の方やアドバイザーの方も、その的確な処置に感嘆されていました。すごい！この発表会を本当に多くの市民の方に見ていただきたいと思いました。本当に、市民のみなさんの命を守るためにどれだけ努力しているのか。それが私の胸にもじんじん伝わって来ました。本当にご苦労さまです。みなさん、「救急車はタクシーではありません」これは救急車を本当に必要としている人の心の声なんです。コンビニ受診もご遠慮くださいね。救急外来の先生も大変ですから。

一人暮らし高齢者宅住宅防火診断を実施しました！

春季火災予防運動に合わせ、火災予防の一層の充実を図るため、3月5日に一人暮らし高齢者宅を訪ねて住宅防火診断を実施しました。西消防署では8班体制で24世帯を訪問しました。台所やお風呂、ストーブなどの火元の確認、消火器の位置、火災報知器の設置状況などを調べて火災予防を呼びかけました。下の写真のSさんのお宅では、ほぼ完璧にみえましたが、さすが消防職員、ストーブのコードがしっかりコンセントに挿入されていないことに気づき、ほこりなどが付いて火災の原因になると注意を促していました。一人暮らしは大変ですから、ご近所のみなさん、気を付けてあげてくださいね。



火災報知器 異常なし！



コンセントが・・・



パンフレットをどうぞ